

広島県公立大学法人図書等資料の整備方針

本部学術情報センター
令和3年9月28日改定

1 趣旨

広島県公立大学法人の学術情報基盤として学術情報センター図書館は大きな役割を果たしており、図書館の有している学修支援機能、教育研究支援機能及び地域貢献機能を十分に発揮していくためには、図書等資料（以下「図書」という。）を計画的に整備していく必要がある。

このため、本部学術情報センター運営委員会において整備方針を策定し、定期的に見直している。県立広島大学の学部学科の再編の実施、また叡啓大学が開学したことから改定する。

2 本学図書館の現状と課題

- (1) 本法人は県立広島大学3キャンパス及び叡啓大学合わせて約60万冊を所蔵しているが、各キャンパス間の距離が遠いこと、また叡啓大学が開学したことから、各キャンパス及び叡啓大学の教育・研究体制に即した独自性を尊重しながらも、より一層の連携の強化を図る必要がある、全法的な視野からの整備を進めていく必要がある。
- (2) 学術情報基盤の構築にあたっては、電子ジャーナルをはじめ、文献検索データベース、電子図書の普及等電子図書館機能の推進強化が進んでおり、これらに適切に対応していく必要がある。
- (3) 県立広島大学では、各キャンパスとも所蔵スペースが狭くなっているため、電子ジャーナル等電子資料で入手可能な資料の導入を推進するとともに、寄贈資料の厳選受入等スペースの有効利用を念頭に置いた適切な収集、不用資料の計画的な除却等に取り組んでいく必要がある。

3 整備方針

(1) 基本

- ア 図書館は大学の教育研究活動を支える重要な学術情報基盤であり、学生や教職員をはじめとする利用者の多様なニーズに的確に応えていくため、計画的・体系的な図書の整備を進める。
- イ 限られた資源を効率的・効果的に活用するため、大学間及びキャンパス間の連携を強化するとともに、それぞれの特色を出しながら選択と集中の原則に立った図書の整備を進める。
- ウ 必要に応じて電子ジャーナル、データベース、電子書籍等を導入し、電子図書館機能を推進する。
- エ 電子ジャーナル、データベース、雑誌、継続資料の選定にあたっては、希望順位のみでなく、利用状況や必要度を勘案して定期的に見直しを行う。
- オ 限られた収蔵スペースを有効活用するため、計画的に不用資料の除却を検討する。

(2) 資料種類別

ア 一般図書

- (ア) 各学科、共通教育において学修、教育、研究支援のために必要な基本図書を整備する。
- (イ) コースカタログ掲載図書、学科推薦図書等授業に関連する資料を充実させる。
- (ウ) アクティブ・ラーニング等学生の主体的な学びに役立つ図書を整備する。

(エ) 社会人としての基礎力，情報・コミュニケーション力，プレゼンテーション力，問題発見・解決力，論理的思考力，幅広い教養，異文化理解・活用力を身につけるのに役立つ図書を整備する。

(オ) グローカル化が進む企業や地域社会の課題解決や活性化に役立つ図書を整備する。

(カ) 学生の学修意欲を引き出すため学生選書の充実に努める。

イ 雑誌

(ア) 本学の学術研究に不可欠な情報資源であり，各分野のコアジャーナルを収集する。

(イ) 必要に応じて，電子ジャーナルを導入する。

(ウ) 本部学術情報センター運営委員会において，利用状況や必要度を勘案して選定し，定期的に見直しを行う。

ウ データベース

(ア) 各大学の实情に合わせて整備を進める。なお，県立広島大学では3キャンパスでの共同利用に配慮する。

(イ) 本部学術情報センター運営委員会において，利用状況や必要度を勘案して選定し，定期的に見直しを行う。

(3) 大学別

ア 県立広島大学（広島キャンパス）

(ア) 国際社会や地域社会で活躍できる人材育成に役立つ図書を収集する。

(イ) 地域のイノベーション力の強化に役立つ経営学分野の図書を収集する。

(ウ) 技術者教育に役立つ図書を収集する。

(エ) 健康の増進や生命・食料分野の図書を収集する。

(オ) 企業経営，情報システム，起業・創業支援，地域資源，コミュニティ分野の研究に役立つ図書を重点的に収集する。

イ 県立広島大学（庄原キャンパス）

(ア) 農学，生命，環境分野の図書を収集する。

(イ) 食品，バイオ，環境分野の研究に役立つ図書を重点的に収集する。

(ウ) 備北地域を中心とした地域連携に役立つ図書を収集する。

ウ 県立広島大学（三原キャンパス）

(ア) 保健，医療，福祉分野の図書を収集する。

(イ) 保健医療福祉分野の最新の研究に役立つ図書を重点的に収集する。

(ウ) 保健医療福祉従事者の人材育成に役立つ図書を収集する。

(エ) 地域の保健医療福祉従事者を支援しキャリアアップ機能強化に役立つ図書を収集する。

(オ) 「病気・障害とともに生きる・体験記コーナー」の図書を積極的に収集する。

エ 叡啓大学

(ア) 文理の枠を超えてリベラルアーツの学習を支える図書を収集する。

(イ) ICTやデータサイエンス、思考系のスキル習得を支える図書を収集する。

(ウ) PBLや体験実践活動を支える実践教育に資する図書を収集する。

(エ) グローカルを視野に多様性や国際力を獲得する図書を収集する。

(オ) 留学生や英語で行われる授業に対応するべく和書に加えて洋書を積極的に収集する。